

# 交渉速報

J R 貨物労組中央本部業務部

2026年3月18日

No.11

## 2026JR総連春闘 妥結!!

# ベースアップ 一律4,100円実施!!

### 《申第4号妥結内容》

- ベースアップ一律4,100円を実施
- 「基準額」「最低額」および「年齢保障給」をベースアップに準じて改定
- シニア社員は一律4,100円を加算
- 契約社員は契約更新時に一律6,300円を加算

### 《申第5号関係》

- 独身者に対する帰省旅費の支給回数を年4回から年6回に拡大。
- 育児・介護休職取得に伴う評価累積ポイント減の見直し。  
(3ヵ月以内は評価ポイントの減を行なわない)
- 障がい者手帳の交付を受ける社員を対象とした、治療のために通院する場合に使用できる有給休暇の新設。(「治療・障害サポート休暇」各年度3日以内)
- 生理休暇の名称を「ライフサポート休暇」に改め、使用事由に男女の不妊治療を追加。

## ～2026JR総連春闘交渉 最終報告～

中央本部は第3回交渉以降、断続的に労使協議を行ない、本日17時30分から最終交渉に臨みました。席上会社はベースアップとして一律4,100円を実施すると回答しました。また、諸要求については、4項目の改善を確認しました。

会社の回答に対して中央本部は、①要求額には届かなかったものの、昨年の倍以上となる一律ベースアップの回答を勝ち取ったこと。②シニア・契約社員の賃金改善をはかったこと。③安全は労使共通の最大の課題であり、原因究明とハード対策を含めた事故再発防止策を講じていくこと。また、職場に対して急ぎ作業を誘発させるような、指示や問い合わせを行なわないこと。④安全に作業を遂行するために、除雪体制や鳥獣による輸送障害の対応強化について継続して議論していく。⑤要員を整えるため、採用募集人員の拡大と確実な人材の確保を進めていく。⑥老朽化した設備や女性設備の充実と改善をはかること。⑦経営陣は次期計画の達成と運賃改定を着実に進め、黒字となった場合は組合員への還元を行なうこと。⑧物価上昇分は定期昇給ではなく、ベースアップで実施していくことを確認し、これ以上の前進はないと判断し、妥結しました。

中央本部は、2026JR総連春闘を「労連春闘」と「安全春闘」として位置付け、2月18日に新賃金および諸要求を申し入れて以降、職場の安全確立、離職防止と人材確保、物価上昇及び生活向上分を求め、春闘を取り組んできました。そして各級機関は、要請メッセージや創意工夫した闘いで、組織一体となった闘いをつくり出してきた結果、昨年の倍以上となる一律ベースアップ4,100円の『額』による回答と、一部諸要求の前進を勝ち取ることができました。

職場では要員不足や設備改善などの課題がまだまだ山積しています。今春闘をしっかりと総括し、更なる組織の強化にむけて、各級機関が一丸となって闘いを推し進めて行こうではありませんか！

中央本部はその最先頭で闘うことを明らかにして、2026JR総連春闘交渉の最終報告とします。

以上